

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成23年11月8日

【四半期会計期間】 第65期第2四半期(自 平成23年7月1日 至 平成23年9月30日)

【会社名】 アトムクス株式会社

【英訳名】 ATOMIX CO.,LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 小林 和幸

【本店の所在の場所】 東京都板橋区舟渡三丁目9番6号

【電話番号】 03(3969)3111

【事務連絡者氏名】 常務取締役管理統括部長 喜多 幸一

【最寄りの連絡場所】 東京都千代田区神田富山町18番地

【電話番号】 03(5297)1801

【事務連絡者氏名】 常務取締役管理統括部長 喜多 幸一

【縦覧に供する場所】 株式会社大阪証券取引所
(大阪市中央区北浜一丁目8番16号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第64期 第2四半期 連結累計期間	第65期 第2四半期 連結累計期間	第64期
会計期間		自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日	自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日	自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日
売上高	(千円)	4,631,541	4,428,506	10,138,712
経常損益(は損失)	(千円)	18,426	19,382	195,009
四半期(当期)純損益 (は損失)	(千円)	82,912	37,321	20,800
四半期包括利益又は包括利益	(千円)	111,951	17,833	35,608
純資産額	(千円)	8,791,542	8,765,631	8,867,885
総資産額	(千円)	12,766,083	12,898,827	13,518,416
1株当たり四半期(当期)純損益 金額(は損失)	(円)	9.82	4.42	2.46
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)			
自己資本比率	(%)	68.9	68.0	65.6
営業活動による キャッシュ・フロー	(千円)	49,688	136,996	235,500
投資活動による キャッシュ・フロー	(千円)	73,202	45,982	49,750
財務活動による キャッシュ・フロー	(千円)	198,748	213,435	317,484
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	(千円)	2,568,540	2,615,398	2,762,679

回次		第64期 第2四半期 連結会計期間	第65期 第2四半期 連結会計期間
会計期間		自 平成22年7月1日 至 平成22年9月30日	自 平成23年7月1日 至 平成23年9月30日
1株当たり四半期純損益金額(は損失)	(円)	10.23	0.57

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成していますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載していません。
2. 売上高には、消費税等は含まれていません。
3. 第64期第2四半期連結累計期間及び第65期第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載していません。第64期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。
4. 第64期第2四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しています。

2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社、以下同じ)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の異常な変動等又は、前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」について重要な変更はありません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものです。

(1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響により依然として厳しい状況にある中で、サプライチェーンの修復などにより生産活動は持ち直しつつありますが、民間設備投資や官公庁工事が一部先送りされるなど市場の縮小傾向が続き、未だ先行きが不透明な状況が続いています。このような状況のもと、当社グループは道路、建築、家庭の主力3分野において、高付加価値製品の拡販に注力するとともに、原材料の見直し、生産コストの低減、及び経費節減に努めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高44億28百万円（前年同期 売上高46億31百万円）、営業損失10百万円（同 営業損失7百万円）、経常損失19百万円（同 経常損失18百万円）、四半期純損失37百万円（同 四半期純損失82百万円）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりです。

< 塗料販売事業 >

東日本大震災後、設備投資に回復基調がみられ建築用塗料分野につきましてはやや前年を上回りましたが、一般消費者の購買意欲の慎重姿勢が未だ回復せず、官公庁工事においても発注の先送りが響き、家庭塗料分野、道路塗料分野におきましては前年を下回りました。この結果、当第2四半期連結累計期間の塗料販売事業の売上高は前年同期間に比べて1億52百万円減少し、43億9百万円（前年同期比3.4%減）となりました。

< 施工事業 >

子会社（アトムテクノス株式会社）による路面標示工事、高速道路のコンクリート剥落防止工事の受注が減少しました。この結果、当第2四半期連結累計期間の施工事業の売上高は前年同期間に比べて50百万円減少し、1億18百万円（同 29.7%減）となりました。

(2) 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末の総資産は128億98百万円（前連結会計年度末比6億19百万円減少）となりました。これは主に流動資産の減少によるもので、商品及び製品と仕掛品で3億49百万円増加したものの、現金及び預金、受取手形及び売掛金で9億64百万円減少したためです。

当第2四半期連結会計期間末の負債は41億33百万円（同5億17百万円減少）となりました。これは主に流動負債の減少によるもので、支払手形及び買掛金、未払法人税等及び引当金で、5億85百万円減少したためです。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は87億65百万円（同1億2百万円減少）となりました。これは主に利益剰余金からの配当（84百万円）によるものです。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物（以下、資金という）の残高は26億15百万円で、前連結会計年度末より1億47百万円減少しました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は、以下のとおりです。

営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果、得られた資金は1億36百万円（前年同四半期は、49百万円使用）となりました。これは主に売上債権の減少、減価償却費により9億49百万円資金が増加し、仕入債務・賞与引当金の減少及びたな卸資産の増加により8億31百万円資金が減少したことによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果、使用した資金は45百万円（同73百万円使用）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出と無形固定資産の取得による支出により39百万円使用したことによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果、使用した資金は2億13百万円（同1億98百万円使用）となりました。これは主に長期借入金の返済と配当金の支払で1億99百万円使用したことによるものです。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間の研究開発費の総額は99百万円で、遮熱塗料などの機能製品の性能向上、防水材の耐汚染性の向上、コーティング材の開発など全て塗料販売事業の研究開発に投入しました。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	30,000,000
計	30,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成23年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成23年11月8日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	9,440,000	9,440,000	大阪証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 1,000株
計	9,440,000	9,440,000		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成23年7月1日～ 平成23年9月30日		9,440,000		1,040,000		680,400

(6) 【大株主の状況】

平成23年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
西川不動産株式会社	東京都千代田区神田富山町18	3,178	33.66
アトミクス取引先持株会	東京都板橋区舟渡 3 9 6	1,155	12.23
東京中小企業投資育成株式会社	東京都渋谷区渋谷 3 29 22	700	7.41
日本トラスティ・サービス信託 銀行株式会社(信託口)	東京都中央区晴海 1 8 11	321	3.40
西川正洋	神奈川県逗子市	280	2.97
アトミクス社員持株会	東京都板橋区舟渡 3 9 6	221	2.34
東洋テック株式会社	大阪府大阪市浪速区桜川 1 7 18	126	1.33
関原真理子	東京都板橋区	111	1.17
日本マスタートラスト信託銀行 株式会社(信託口)	東京都港区浜松町 2 11 3	106	1.12
西川ルミ子	東京都渋谷区	75	0.79
計		6,274	66.47

- (注) 1 所有株式数は、千株未満を切り捨てて記載しています。
 2 所有株式数の割合は小数点以下第3位を切り捨てて記載しています。
 3 上記のほか自己株式997千株を保有しています。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成23年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 997,000		単元株式数 1,000株
完全議決権株式(その他)	普通株式 8,439,000	8,439	同上
単元未満株式	普通株式 4,000		
発行済株式総数	9,440,000		
総株主の議決権		8,439	

【自己株式等】

平成23年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
アトムクス株式会社	東京都板橋区舟渡3-9-6	997,000		997,000	10.56
計		997,000		997,000	10.56

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しています。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(平成23年7月1日から平成23年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成23年4月1日から平成23年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、監査法人保森会計事務所による四半期レビューを受けています。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,762,679	2,615,398
受取手形及び売掛金	4,137,016	3,319,757
商品及び製品	850,348	927,732
仕掛品	222,352	494,883
原材料及び貯蔵品	512,488	510,861
その他	267,187	300,118
貸倒引当金	141,300	111,227
流動資産合計	8,610,771	8,057,523
固定資産		
有形固定資産		
土地	2,744,050	2,744,050
その他(純額)	1,434,754	1,362,754
有形固定資産合計	4,178,805	4,106,805
無形固定資産	141,805	137,578
投資その他の資産	587,033	596,919
固定資産合計	4,907,644	4,841,303
資産合計	13,518,416	12,898,827
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,801,690	2,393,296
短期借入金	387,844	342,844
未払法人税等	101,569	18,032
引当金	203,679	110,527
その他	390,038	584,410
流動負債合計	3,884,821	3,449,111
固定負債		
長期借入金	285,780	214,358
退職給付引当金	264,928	264,090
引当金	126,727	114,771
資産除去債務	37,844	38,116
その他	50,430	52,748
固定負債合計	765,709	684,084
負債合計	4,650,530	4,133,195

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,040,000	1,040,000
資本剰余金	680,400	680,400
利益剰余金	7,546,757	7,425,015
自己株式	380,175	380,175
株主資本合計	8,886,981	8,765,239
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	34,420	43,908
為替換算調整勘定	53,516	43,516
その他の包括利益累計額合計	19,096	391
純資産合計	8,867,885	8,765,631
負債純資産合計	13,518,416	12,898,827

(2)【四半期連結損益及び包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高		
商品及び製品売上高	4,462,438	4,309,657
工事売上高	169,103	118,849
売上高合計	4,631,541	4,428,506
売上原価		
商品及び製品売上原価	3,036,347	2,983,260
工事売上原価	156,885	104,648
売上原価合計	3,193,232	3,087,908
売上総利益	1,438,309	1,340,598
販売費及び一般管理費	1,445,646	1,350,729
営業損失()	7,337	10,131
営業外収益		
受取利息	127	182
受取配当金	2,803	3,087
受取家賃	-	2,330
受取保険金	4,880	-
その他	5,542	3,062
営業外収益合計	13,352	8,664
営業外費用		
支払利息	7,289	5,187
為替差損	17,152	10,522
貸倒引当金繰入額	-	2,200
その他	-	5
営業外費用合計	24,442	17,916
経常損失()	18,426	19,382
特別利益		
貸倒引当金戻入額	45,352	-
特別利益合計	45,352	-
特別損失		
固定資産売却損	68	-
固定資産除却損	6,574	589
減損損失	61,753	-
たな卸資産評価損	25,787	-
ゴルフ会員権評価損	-	1,100
貸倒引当金繰入額	40,752	-
整理損失引当金繰入額	14,575	-
リース解約損	269	-
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	22,937	-
特別損失合計	172,719	1,689
税金等調整前四半期純損失()	145,793	21,072
法人税、住民税及び事業税	12,694	14,444
法人税等調整額	75,575	1,804
法人税等合計	62,881	16,248
少数株主損益調整前四半期純損失()	82,912	37,321
四半期純損失()	82,912	37,321

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失()	82,912	37,321
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	16,637	9,487
為替換算調整勘定	12,401	10,000
その他の包括利益合計	29,039	19,487
四半期包括利益	111,951	17,833
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	111,951	17,833
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失()	145,793	21,072
減価償却費	147,287	132,234
減損損失	61,753	-
貸倒引当金の増減額(は減少)	34,119	27,107
賞与引当金の増減額(は減少)	125,375	83,035
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	5,297	11,955
退職給付引当金の増減額(は減少)	7,063	838
整理損失引当金の増減額(は減少)	14,575	-
災害損失引当金の増減額(は減少)	-	10,330
受取利息及び受取配当金	2,930	3,270
支払利息	7,289	5,187
為替差損益(は益)	17,350	27,249
有形固定資産売却損益(は益)	68	-
固定資産除却損	6,574	589
ゴルフ会員権評価損	-	1,100
売上債権の増減額(は増加)	972,264	817,568
たな卸資産の増減額(は増加)	45,889	347,365
仕入債務の増減額(は減少)	633,459	400,938
リース解約損	269	-
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	22,937	-
その他	105,874	157,175
小計	155,162	235,191
利息及び配当金の受取額	2,930	3,270
利息の支払額	7,502	5,486
法人税等の支払額	200,278	95,980
営業活動によるキャッシュ・フロー	49,688	136,996
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	71,188	30,274
有形固定資産の売却による収入	405	-
有形固定資産の除却による支出	5,108	-
無形固定資産の取得による支出	276	9,000
投資有価証券の取得による支出	2,490	2,546
投資有価証券の売却による収入	8,487	-
その他	3,031	4,162
投資活動によるキャッシュ・フロー	73,202	45,982

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	200,000	200,000
短期借入金の返済による支出	200,000	200,000
長期借入金の返済による支出	106,422	116,422
配当金の支払額	82,860	83,265
ファイナンス・リース債務の返済による支出	9,465	13,748
財務活動によるキャッシュ・フロー	198,748	213,435
現金及び現金同等物に係る換算差額	21,787	24,857
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	343,426	147,280
現金及び現金同等物の期首残高	2,911,967	2,762,679
現金及び現金同等物の四半期末残高	1 2,568,540	1 2,615,398

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日至平成23年9月30日)
1. 税金費用の計算	税金費用については、一部の連結子会社においては、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純損益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純損益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しています。

【追加情報】

	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日至平成23年9月30日)
(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)	
第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号平成21年12月4日)を適用しています。	

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
1 資産の金額から直接控除している貸倒引当金の額 投資その他の資産 9,629千円	1 資産の金額から直接控除している貸倒引当金の額 投資その他の資産 13,594千円

(四半期連結損益計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日至平成23年9月30日)
1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりです。 給料手当 451,178千円 貸倒引当金繰入額 千円 賞与引当金繰入額 55,940千円 役員退職慰労引当金繰入額 5,297千円	1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりです。 給料手当 428,505千円 貸倒引当金繰入額 831千円 賞与引当金繰入額 51,775千円 役員退職慰労引当金繰入額 7,646千円 運賃 271,658千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日至平成23年9月30日)
1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成22年9月30日現在) 現金及び預金勘定 2,568,540千円 現金及び現金同等物 2,568,540千円	1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成23年9月30日現在) 現金及び預金勘定 2,615,398千円 現金及び現金同等物 2,615,398千円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成22年6月29日 定時株主総会	普通株式	84,420	10	平成22年3月31日	平成22年6月30日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月29日 定時株主総会	普通株式	84,420	10	平成23年3月31日	平成23年6月30日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	塗料販売事業	施工事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	4,462,438	169,103	4,631,541	4,631,541
セグメント間の内部売上高 又は振替高	33,512		33,512	33,512
計	4,495,951	169,103	4,665,054	4,665,054
セグメント利益又は損失()	176,958	13,215	163,742	163,742

(注) 1. 第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しています。これにより、塗料販売事業のセグメント利益は1,110千円減少しています。

2. 前連結会計年度末より、国内連結子会社アトムサポート(株)の広告宣伝用販促物をたな卸資産として計上する方法から費用処理する方法に変更しています。なお、前第2四半期連結累計期間に変更後の処理方法を適用した場合、塗料販売事業の営業利益は9,132千円減少します。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	163,742
全社費用(注)	171,080
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業損失()	7,337

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当社は、平成22年7月5日開催の取締役会において、当社の子会社である阿童木(廊坊)塗料有限公司について解散及び清算の決議をしました。これに伴い、同社が事業の用に供しています工場・事務所に係る建物及び機械装置等について、売却が見込まれる金額を除いた帳簿価額を減損処理し、当該減少額を減損損失(61,753千円)として特別損失に計上しました。

減損損失の報告セグメント別の内訳は、以下のとおりです。

(単位：千円)

	塗料販売事業	施工事業	全社・消去	連結
減損損失	41,933		19,820	61,753

当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	塗料販売事業	施工事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	4,309,657	118,849	4,428,506	4,428,506
セグメント間の内部売上高 又は振替高	35,578		35,578	35,578
計	4,345,235	118,849	4,464,085	4,464,085
セグメント利益又は損失()	158,777	4,179	154,598	154,598

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	154,598
全社費用(注)	164,729
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業損失()	10,131

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(金融商品関係)

金融商品の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(有価証券関係)

有価証券の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(デリバティブ取引関係)

デリバティブ取引の四半期連結会計期間末の契約額は、前連結会計年度と比較して著しい変動がありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりです。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
1株当たり四半期純損失金額()	9.82円	4.42円
(算定上の基礎)		
四半期純損失()(千円)	82,912	37,321
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純損失()(千円)	82,912	37,321
普通株式の期中平均株式数(千株)	8,442	8,442

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純損失金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成23年11月7日

アトミクス株式会社
取締役会 御中

監査法人 保森会計事務所

代表社員
業務執行社員 公認会計士 三 枝 哲 印

代表社員
業務執行社員 公認会計士 小 山 貴 久 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているアトミクス株式会社の平成23年4月1日から平成24年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成23年7月1日から平成23年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成23年4月1日から平成23年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益及び包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、アトミクス株式会社及び連結子会社の平成23年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。
以 上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。